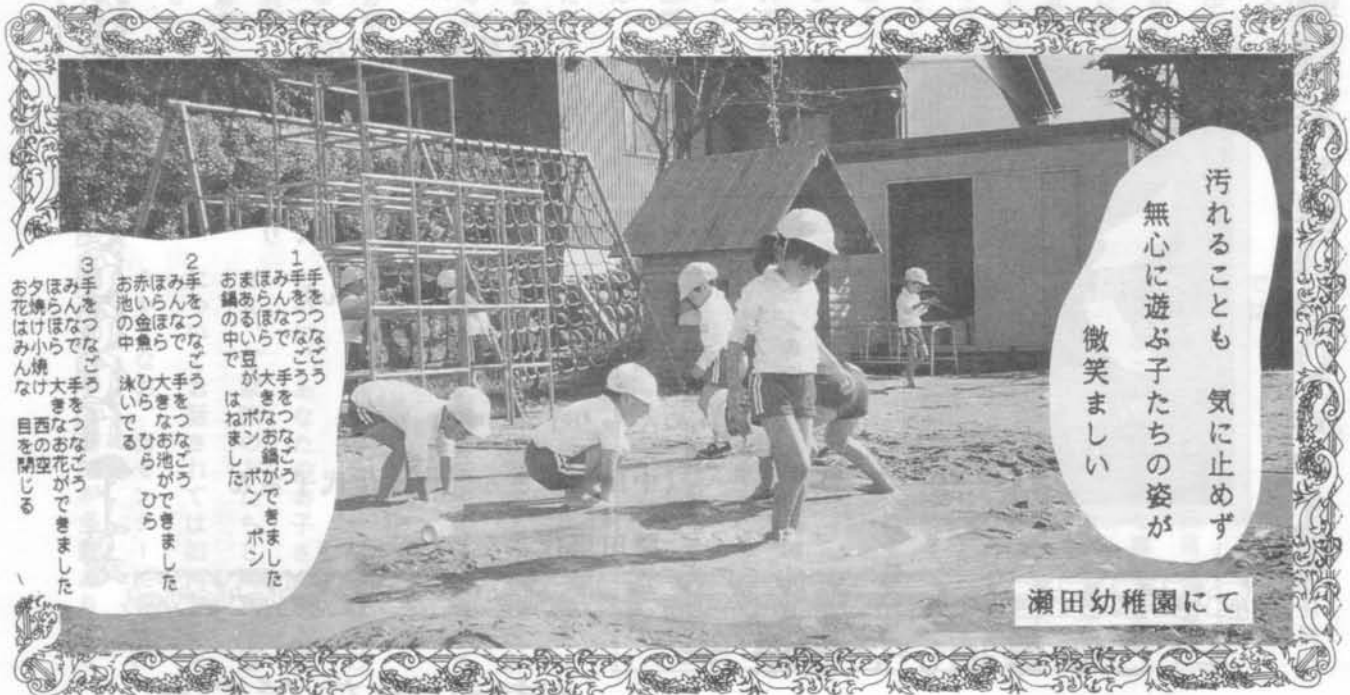


ぬくもり

発行元 可児市人権啓発センター
 可児市下恵土5166-1
 (可児市総合会館分室内)
 電話 (0574) 63-7990
 FAX (0574) 63-7990

= 可児市人権啓発センターだより =



汚れることも 気に止めず
 無心に遊ぶ子たちの姿が
 微笑ましい

瀬田幼稚園にて

1 手をつなごう
 みんなで 手をつなごう
 ほらほら 大きなお鍋が
 おまあるい豆 はポン
 お鍋の中で はねました
 2 手をつなごう
 みんなで 手をつなごう
 ほらほら 大きなお鍋が
 赤い金魚 ひらひら
 お池の中 泳いでる
 3 手をつなごう
 みんなで 手をつなごう
 ほらほら 大きなお花が
 お花はみん な 目を閉じる

大好きな僕のおばあちゃん

東明小学校一年



いわた せいき
 僕には、家の
 おばあちゃんと、
 大森のおばあ

ちゃんがいます。

僕は、いつも家のおばあちゃん
 と、双六や、かるたや、クイズ
 をして遊んでいます。

おばあちゃんは、僕がクイズの
 問題を出すと、「わからん」と
 言います。僕は「だいじょうぶ」
 と言って楽しく遊んでいます。

大森のおばあちゃんは、僕の
 好きなものを持って自転車に乗
 ってきます。時々一緒に旅行に
 も行きます。

夏休みに、僕はお風呂のお湯
 を入れるお手伝いと、計算の勉強
 をノートにいっぱいやりました。
 そしたらおばあちゃんは、
 「えらいねえ」とほめてくれま
 した。僕は嬉しかったけれど、
 ちよっと照れてしまいます。

僕は、いつもここにこして

るおばあちゃんの優しい顔が大
 好きです。

僕が、おばあちゃんに毎日や
 ってあげることがあります。

それは…

「おばあちゃんのいけばをしよ
 うどくするくすりを、みずのな
 かに入れること。」

ほとけさまのごはんをもって
 いくこと ……です。



おばあちゃん
 は「ありがと
 う、ありがと
 う」といま
 す。

家のおばあちゃん、!

いつも一緒に遊んでくれて
 ありがとう!

大森のおばあちゃん、!

また旅行に行こうね!

そして二人のおばあちゃん!
 いつまでも元気できて下さい。

原文の一部ひらがなから
 漢字に直してあります。



優秀作品のご紹介

★ポスターの部

(水谷三郎さん)



★標語の部

○差別なく 守る人権 国際化

(続木俊一さん)

○見守ろう差別いじめのない社会

(日比野正幸さん)

○人権を尊び住みよいまちづくり

(瀬瀬敏彦さん)

★ネーミングの部

「ぬくもり」

(中田蓉子さん、堀部伊代子さん)

藤田里代さん)

＝ ご応募頂いた皆様 ＝

※お礼かたがた※

市内の皆さんから貴重な作品をお送り頂き誠にありがとうございました。紙面をお借りして厚くおれいを申し上げます。ご協力頂きました皆さんのご芳名は左記の通りですが、部門別の作品点数は下記の通りです。ネーミング；51点、標語；17点、ポスター；4点。各部門の入賞作品の選考は、当センターの役員及び顧問にお願いし、慎重な審査により上記の通り決定しました。尚、入選作品については、今後の啓発活動で利用させて頂きます。ご承知おき下さいますようお願いいたします。

ネーミング

林 彰	堀	藤井 裕	大給
林 由美	敬丘	野田 美穂	清水丘
中 蓉子	敬丘	日比野正幸	下郷土
野田 裕	大塚	堀田 聖	緑
堀 美穂	敬丘	田 詞	東野
川 堀	雅丘	瀬 彰	敬丘
堀 伊代	敬丘	山本 裕子	聖
堀 美	"	堀 直子	大塚

ポスター

裕 三郎	敬丘
中 聖	敬丘
堀 大	大塚

標 語

堀 俊一	大塚
日比野正幸	下郷土
原 聖	大塚
川 聖	大塚
野田 美穂	敬丘
堀 美穂	雅丘
堀 彰	敬丘

(敬称略)



ごきょうりやく
ありがとうございました!

菊
ポインセチア
聖なる希い
困難に耐え
る
幸福を招く
富貴
母の愛
慈愛
元気
嫉妬
シクラメン
サイネリア
ロウバイ
万年青
千両
福寿草

||ご存じですか||

教科書にみる

小・中学生の同和学習

今、小・中学校の教科書は同和問題を次のように取り上げています。六年の「日本の歴史」では、

幕府は、秀吉の定めた身分の区別をさらにきびしくし、人々を武士と農民と工（職人）・商の町人の身分に分けました。また、同じといっても、それぞれに細かな上下の区別がありました。・・・そのうえ幕府は、農工商より更に低い身分をおきました。この差別政策は、農民にもまだ下のものがあると考えさせ、武士や幕府に対する不満をそらさせるのに役立つと言われます。・・・（明治維新になつて封建的身分制度が廃止され「四民平等」となるわけですが）
・・・しかし政府が、その人々の実際の生活を改善する努力をおこなわなかったこともあって、差別はなかなか改まりませんでした。

（抜粋）

また、中学校の「公民的分野」

では

・・・とりわけ、部落差別をなくすることは、人間を尊重する社会を築くうえで大きな課題である。これらの差別は、それぞれの歴史的な背景や社会的なあらわれ方に違いがあるが、人々の生活を圧迫し、その人格を傷つけることでは同じである。・・・すべての人の基本的人権を保障し、日本の社会を民主化するためには、こうした差別をぜひなくさなければならぬ。

（抜粋）

私たちの生活の中にある偏見・差別は、物事に対する正しい理解と認識の欠如に起因することが多いのです。

生活の中の不合理な問題解決のために、あなたのお子さんやお孫さん、ご家族の方たちと同和問題についてお話されては如何でしょうか。なお、当センターにも同和問題に関する書物が多数あります。

ご利用ください。



人権週間

学校・家庭・地域で 12月4日～10日

子どもの人権を守ろう



はくくもう 思いやりの心

編集後記

♥ 11月の夜空は秋の星座から冬の星座に衣替えする季節です。夜空に輝く星のように仲間とともにきらめきたいものです。
♥ 「センターだより」に命名して頂きました。『ぬくもり』にご声援をよろしく。
♥ 皆さんからの投稿 大歓迎！ 身近な問題・思いやり・優しさへの感謝の気持ち等、年間を通してお待ちしています。

※※※※※ 次回の発行は2月の予定です ※※※※※

『潤いのある家庭』

長尾 雅子

私の家族は、両親、主人、三人の子供と私の七人です。それぞれの世代の違いで当然考え方も違います。

戦争を経験された両親にとって、私たちの行動、考え方には目に余るものがある事でしょう。それでも好意的に見守って下さっています。

生活に追われ自分の時間がなかなか持てなかったのが漸く近くのお年寄りとお掛けたり、グランドゴルフをしたりと楽しい時を過ごされる様になりました。

子供たちはといえば、朝と夜

を間違えていないかと思うほど時間にズレを感じさせられます。

夕方頃から出掛けなかなか帰って来ません。門限を決めようと思

ちかけても「そんな家はない」とか「子供を信用してよ」と話し

合いになりません。遊んでいる方は楽しく過ごしているのですが、家で待つ者は時間が

進むにつれ心配度が増します。

両親も、床についても寝就けないでいるようです。連日連夜出

掛けることもあり自分の時間だから自由に使いたい、干渉されたくないと思っ

ています。両親も一言いいたいのでしょうが私たちが親に任せ黙ってみえませ

ず。親としての私たちの立場を尊重しての事と感謝しています。

「親しきなかにも礼儀あり」と

とえ家族であっても、この言葉を忘れる事なく、それぞれの立場を尊重し、認め合っ

ていけたらと思います。子供達も、自分を主張する余り心配している家族のいる事を忘れないで欲しい

ものです。

年々年をとっていかれる両親に反比例し、どんどん成長して

いく子供達が、

今まで様々な事

を教えてもらっ

たり、してもら

った事を忘れな

いで、今度は子

供達の祖父母を



見守って欲しいと信じて、喧嘩をし乍らも、お互いの立場を考え、助け合っ

『スウェーデンに見た人権感覚』

柘植 英次

九月の文部省海外研修に参加

して、まず、驚かされたのは、バスの中央部分のドアが車椅子

でも乗り込めるようになってい

る点である。こうした障害をも

つ人のための施設が、各所に配

慮されている。

それにもまして感動したこと

は、畑が広々と広がるスコーネ

の田舎においても、外国人の我

々に「メイアイ、ヘルプ、ミー」

と老人が声をかけてくれたこと

である。バスの運転手さんも、

バス停でなくても目的地に近い

所で止めてくれたりする。これ

は我々外国人に限らず、スウェ

ーデンの人々にも行われていた。

移民に対しても成人学校でス

ウェーデン国民としての教育を

施し差別のないような環境づくりに努めている姿をかいま見た。

このような国だからこそ駅に改札口がなくても人々は、乗車

切符を買い、それがごく当然だとして生活しているのだろう。

これは、学校・家庭・地域の教育で培われた姿だと言えよう。

センターの蔵書だより

センターには、人権に関わる図書をはじめ一般の読み物が約七百冊余りあります。近くへおいでの際には、気軽に是非お立ち寄り下さい。貸出もしております。

